



キャンパス
ミュージアム散策

絵・文／松永 拓己

大学院教育学研究科
教授・芸術家

創造する森 時の小道

熊本大学内の小道をゆく。県道337号沿い熊本大学のランドマークの赤門をくぐると、明治の佇まいを残す樹木たちが出迎える。五高記念館は正面方向にあるはずだが、いきなり道は右曲がりとなり大回りさせられる。通称サインカーブである。東へ西へと歩き、合理的に進ませてはくれない。目的の五高の建物は木々の間からチラチラ垣間見える。さらにその正路からたくさんの小道が右へ左へ枝分かれする。急ぐ熊大生にはさぞかしもどかしい。「右さん行く？左さん行く？*」正路を逸れて右の小道を歩んでみる。

五高教授であった夏目漱石の銅像に出会う。「夫レ教育ハ建国ノ基礎ニシテ……」漱石のことばを印した石文が目に入る。その先にはやはり五高の赤煉瓦の建物が待っている。右へ左へ大いに迷わされ、それでも面白い風景にたどり着く。まるで学問のように。それとも人生のようにか。そんな小道に哲学させられる。春は桜の木々が二重三重に折り重なり謳歌する。秋には銀杏が黄色く小道を括り、楓は赤く染めてくれる。よく見ると、夏目漱石像の傍にはもうひとつ小石碑が置かれていた。

「秋はふみ吾に天下の志」漱石句

黒マントをひるがえし下駄を鳴らし大志を抱いた五高生「龍南健児」によく似合うことばが響く、創造の森の小道である。

*右さん左さんは、肥後弁で右へ左への意味。

五高記念館

熊本市中央区黒髪2-40-1 入場無料

Tel.096-342-2050

開館時間／10:00～16:00

(入館は15:30まで)

休館日／火曜日

※大学の都合による休館日あり

交通機関／バスをご利用の場合

「熊本大学前」下車 徒歩3分

